

取扱説明書

i-Size/特定車両
プースターシート

型式/TYPE : WD015
規則/Regulation No.129/03
サイズ範囲/Size Range
身長100cmから150cm



輸入販売元
リーマン株式会社 www.leaman.co.jp
〒496-0911 愛知県豊田市西保町南川原68-1
お客様相談室 **TEL. (0567) 27-0173**
受付時間 月曜日～金曜日 (祝日・弊社指定休日は除きます)
AM10:00-12:00 PM1:00-5:00

1. 目次

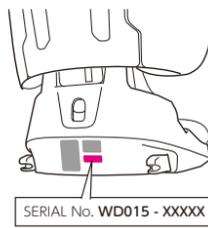
目次	1
はじめにお読みください	2
重要	3
各部名称	4
使用条件	5
事前準備	6
車両への固定	6-1
インナークッションの使用	6-2
ヘッドレストの調整	6-3
ISOZIX コネクタを使用する	6-4
シートの収納	6-5
車両への取付け	7
ISOFIX コネクタ + 車両3点式シートベルト	
車両への取付け	8
車両3点式シートベルト	
シートの取りはずし	9
お手入れ方法	10
保管 / 廃棄のしかた	11
保証書	

2. はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、正しく使用されている際のみ安全性と快適性を発揮するよう設計されています。
ご使用前に必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、
必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
この取扱説明書は、取扱説明書ポケットに入れて大切に保管し、必要に応じてお読みください。

はじめにシリアルNo.をお控えください。

「本取扱説明書」(表面上方の保証書)、および同梱の「チャイルドシート保険兼お客様登録ハガキ」に「シリアルNo.」の記入欄があります。
車両への取付けをおこなう前に本製品背面下方にある「シリアルNo.」をお控えください。
※車両への取付け後、車両シートでシリアルNo.が見えにくい場合があります。



こちらから web 登録ができます。



3. 重要

3-1.R129とは i-Size とは

R129 とは、精度の高いダミー人形の使用や側面衝突に関する試験等、これまで以上に厳しい内容を定めたチャイルドシートに関する国連規則です。
i-Size とは、お客様が簡単・確実に取り付けることが出来る ISOFIX 固定方式を用いたチャイルドシートのカテゴリです。
i-Size 適合車両のシートには、全般的に適合します。 ※それ以外の車両のシートについては、車両適合表をご確認ください。
また i-Size チャイルドシートでは、お子さまの成長にあわせて性能を発揮する為に、お子さまの身長にあわせて使用方法となっています。



i-Size 表示

3-2.ISOFIXとは

ISOFIX(アイソフィックス)とは、国際標準化機構によって定められた車両のシートにチャイルドシートを固定する方式で、車両シートに設置された ISOFIX 取付け金具を使います。
本製品は、i-Size 適合の車両だけでなく、ISOFIX 表記やマークのある車両に使用することが出来ます。



ISOFIX 表示

3-3.適合の確認

- 本製品は、i-Size(アイサイズ) プースターシート(身長 100~135cm)と、特定車両プースターシート(身長 135~150cm)として、UN 規則 No.129(UN R129/03)に基づいて認可されています。
- i-Size(アイサイズ) プースターシートとして、車両メーカーの取扱説明書によって示されるアイサイズ適合車両の着座位置で主に使用するものとして認可されています。
- アイサイズ適合車両のシート以外や、特定車両プースターシートの使用条件(身長 135~150cm)では、車両適合表および車両の取扱説明書をご確認ください。

身長	設置方法	許可タイプ
100-135cm	車両3点式シートベルト + ISOFIX	i-Size プースターシート
	車両3点式シートベルト	
135-150cm	車両3点式シートベルト + ISOFIX	特定車両 プースターシート
	車両3点式シートベルト	

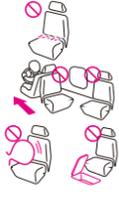
3-4.取付け可能な車両シートベルトの種類

シートベルトの種類と特徴	前向き取付け注意点
ELR ゆっくり引くと自由に入出力し、勢いよく引くとロックする。	○ ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。
AELR シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に縮まり、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	○ シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取付けてください。
その他 上記にあてはまらないシートベルト。	✗ 使用できません。

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

3-5.取付けできないシート

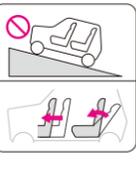
- 横向き、後向きになっているシート。(衝突の際にショックを吸収できません。)
- チャイルドシートを取付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート。
- 前方にエアバックが装備されているシート。(サイドエアバッグのみの場合は使用できます。)
- 助手席には取り付けしないでください。
- 極端なバケットシート等、しっかりと固定ができないシート。



3-6.作業スペースの確保

安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。

- 取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。
- 車内の作業スペースを確保するため、前座席を前に倒したり、できるだけ前にスライドさせてから取付けてください。
- 車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。



緊急時には…

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。

車両バックルのプレスボタンを押してシートベルトのロックを解除し、お子さまにかかっているシートベルトをはずします。



車両バックルのプレスボタンを押しても、タングプレートがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などで車両シートベルトを切断してお子さまを救出してください。



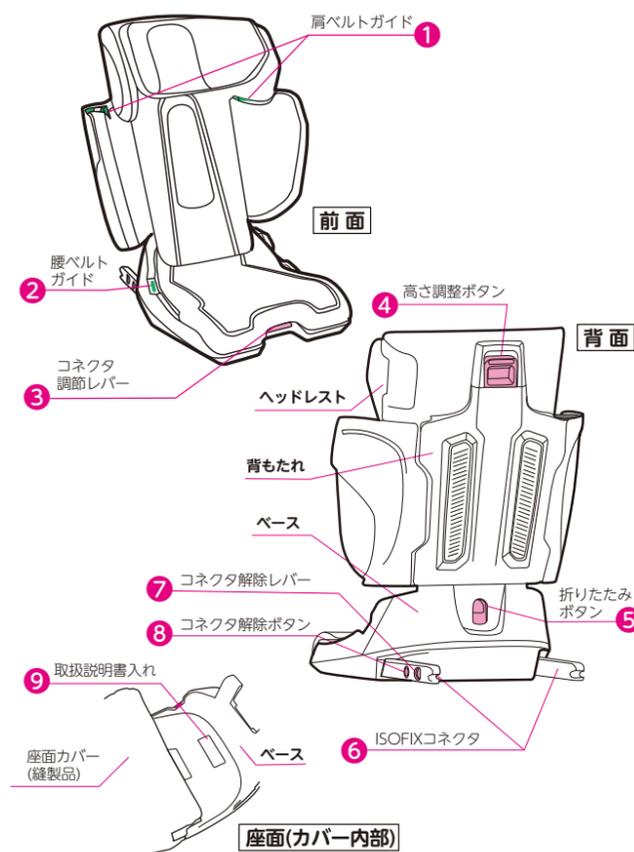
⚠ 記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 本製品は取扱説明書どおりに固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、ベルトや製品構造の一部が首にかかるとおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
- ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。
- 座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けしないでください。
- 事故の衝撃や製品の落下など一度でも衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用せず交換してください。
- 本製品の布製のカバーで覆われていない部分や金属部は、直射日光により高温になる可能性があります。お子さまがやけどをしないよう、直射日光を避け各部が高温でないことを確認してからご使用ください。
- 本製品を改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しないでください。
- シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。(衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります。)
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定されません。
- お子さまを車内にひとり放置することは絶対にしないでください。
- 運転中に本製品の操作をしないでください。
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。

⚠ 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

- お子さまを乗せる際には、本製品の取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態でおこなってください。)
- 本製品にお子さまを乗せたまま車両への取付け・取りはずしはしないでください。
- お子さまの乗り降りの際など、本製品の端に体重をかけると、転倒してケガなどをするおそれがあります。
- お子さまが本製品の上で立ち上がりたり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- 車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますので注意してください。本製品と車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、使用してください。
- 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分(プラスチック部分等)がはさまれないように本製品を取付けてください。
- ベルトを鋭利なもので傷つけないように注意してください。
- 本製品を車両以外では使用しないでください。
- 本製品を取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。
- お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。
- 本製品を持ち運ぶときは、ベース部以外をもちたないでください。故障の原因となります。
- 爪をのばしていたり、付け爪をしていると拘束や調節操作をする際、巻き込まれるおそれがありますので注意してください。

4. 各部名称



5. 使用条件

- 車の進行方向に対して「前向き取付け」で使用してください。
- 身長100~105cmのお子様は、ヘッドクッションとインナーシートを使用してください。(詳細は次ページを参照ください。)
- 身長105~150cmのお子様は、ヘッドクッションとインナーシートを取り外してください。

100cm ~ 105cm

ヘッドクッション
インナーシート

105cm ~ 150cm

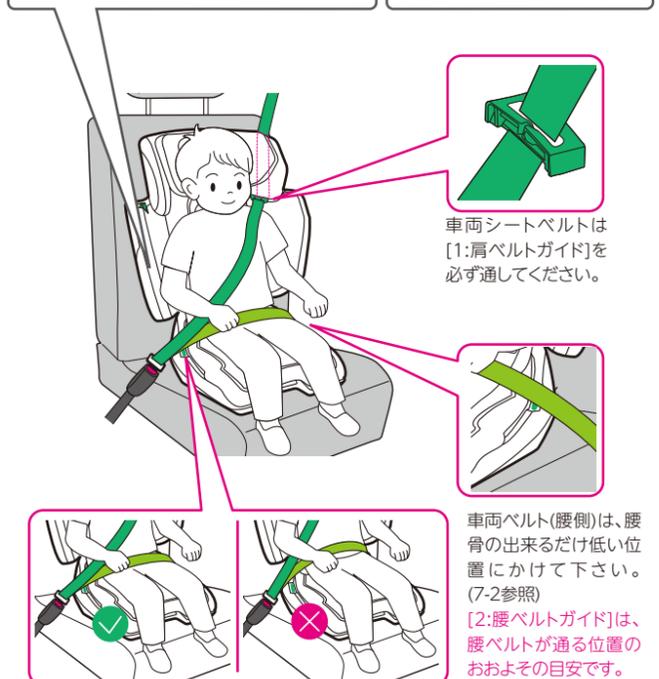
ヘッドクッション
インナーシート

ISOFIX取付け金具 + 車両シートベルト

チャイルドシートを [6:ISOFIX コネクタ] を ISOFIX 取付け金具に固定して、お子さまを車両シートベルトで拘束します。

車両シートベルトの場合

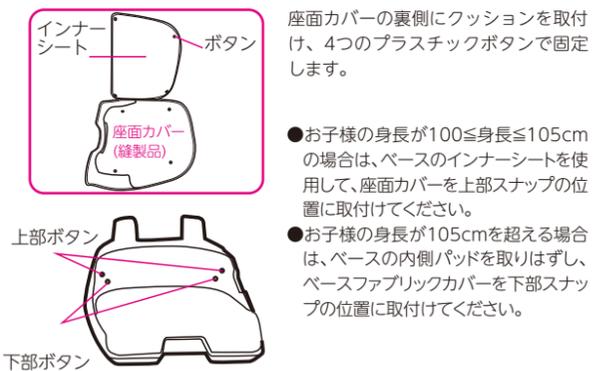
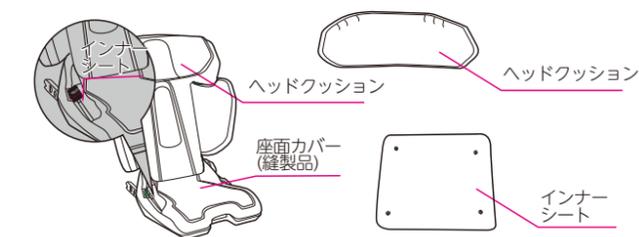
チャイルドシートを車両の座席に置き、お子さまを車両シートベルトで拘束します。



6. 事前準備

6-1. インナークッションの使用

注意 お子さまの身長が100≦身長≦105cmの場合は、ヘッドクッション+インナーシートをチャイルドシートに取り付けてください。
インナーシートは、座面カバーの内部に設置されています。



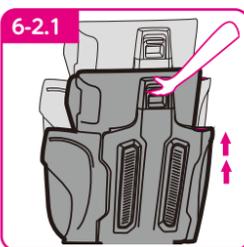
座面カバーの裏側にクッションを取付け、4つのプラスチックボタンで固定します。

- お子様の身長が100≦身長≦105cmの場合は、ベースのインナーシートを使用して、座面カバーを上部スナップの位置に取付けてください。
- お子様の身長が105cmを超える場合は、ベースファブリックカバーを下部スナップの位置に取付けてください。

6-2. ヘッドレストの調整

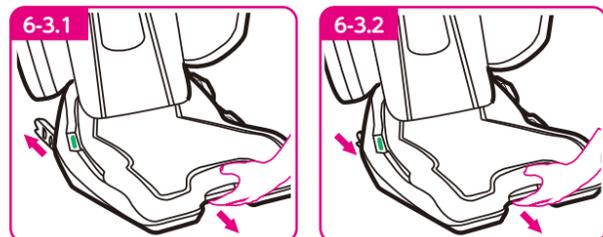
[4:高さ調整ボタン]を引き上げて、ヘッドレストの高さを調整します。

ヘッドレスト高さを調整すると、連動して背もたれにある肩ベルトガイドの高さが変わります。



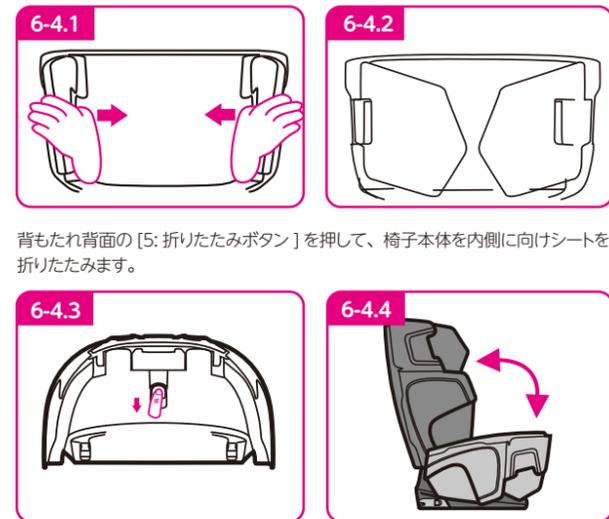
6-3. ISOFIXコネクタを使用する

[3:コネクタ調整レバー]を引くと、[6:ISOFIXコネクタ]が自動的に最大に飛び出します。
[3:コネクタ調整レバー]を引きながら、[6:ISOFIXコネクタ]を内側に押すと、[6:ISOFIXコネクタ]を納めることができます。



6-4. シートの収納

背もたれを折り畳み、コンパクトに収納する事が出来ます。
ヘッドクッションを内側に折りたたんでください。

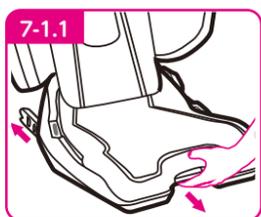


7. 車両に取付け ISOFIXコネクタ+車両3点式シートベルト

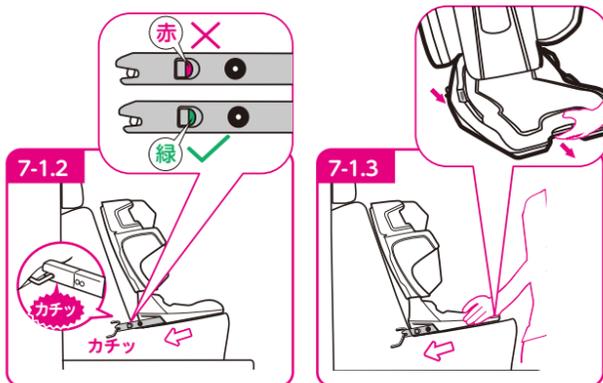
身長100~150cm ISOFIXコネクタ+車両3点式シートベルト

7-1. 車両への取付け

[3:コネクタ調整レバー]を引き、[6:ISOFIXコネクタ]を飛び出させます。



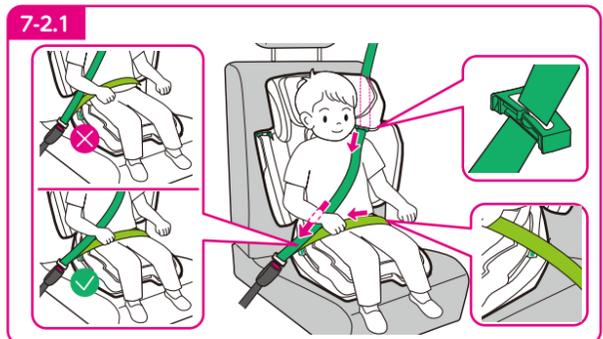
ISOFIX取付け金具の位置を確認し、製品全体をゆっくり押し込み、左右の[6:ISOFIXコネクタ]をISOFIX取付け金具に接続します。
左右それぞれのコネクタから「カチッ」と音が聞こえるまで製品を押し込み、左右の[7:コネクタ解除レバー]の表示が「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。次に、[3:コネクタ調整レバー]を引きながら、チャイルドシートを車両シート内側に押し込みます。
製品を前後させ、[6:ISOFIXコネクタ]が伸縮しない(ロックされている)ことを確認する。



7-2. お子さまを乗せる

車両のベルトでお子さまを拘束します。
ヘッドレストの高さを一番高い位置に調整し、お子さまを奥深く座らせてください。
車両ベルトを引き出し、チャイルドシートの[1:肩ベルトガイド]と[2:腰ベルトガイド]付近を通し、車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。
・各ベルトガイド部は、緑色に着色されています。
・肩ベルトガイドは、片側のみ使用します。

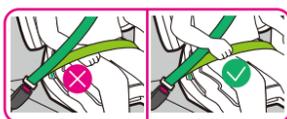
ヘッドレストを調整し、[1:肩ベルトガイド]が肩と同じ高さか、やや高めのように調整してください。(6-2 参照)



車両ベルト(腰側)は、腰骨の出来るだけ低い位置にかかるように調整し、たるみがないように腰部に密着させてください。

[2:腰ベルトガイド]は、腰ベルトが通る位置のおおよその目安です。
腰ベルトが、お子さまの腹部ではなく腰骨の出来るだけ低い位置を通っていれば[2:腰ベルトガイド]から外れていても問題ありません。

警告 お子さまの腕は必ずシートベルトの上に出してください。
警告 お子さまの動きなどで車両ベルトが緩んだときは、車両ベルトのたるみがない様、密着させて使用してください。



8. 車両に取付け 車両3点式シートベルト

身長100~150cm 車両3点式シートベルト

8-1. 車両への取付け

[6:ISOFIXコネクタ]を使用しない設置方法です。車両にコネクタがある場合には、7の設置方法でご使用ください。

[6:ISOFIXコネクタ]は収納された状態にします。
チャイルドシートを、車両シートのなるべく深い位置(車両シートの背もたれ側)に設置します。



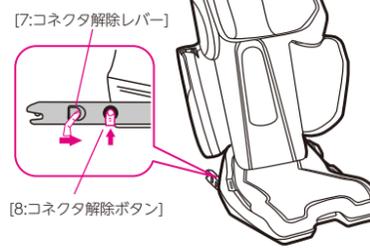
8-2. お子さまを乗せる

7-2と同様の方法で、車両のベルトでお子さまを拘束します。

9. シートの取りはずし

シートの取りはずし

[8:コネクタ解除ボタン]を押したまま[7:コネクタ解除レバー]を内側に引いて、[6:ISOFIXコネクタ]を車両のISOFIX取り付け金具から引き離してください。
操作しづらい場合は、[3:コネクタ調整レバー]を操作しシートを手前に引き出してください。



10. お手入れ方法

シートカバーは本製品の安全性能に非常に重要であるため、必ず純正のカバーのみを使用してください。交換用のシートカバーは、小売店、代理店、またはメーカーから入手できます。チャイルドシートはカバーなしで使用しないでください。

日常のお手入れ方法

- 取りはずしできるクッション類は取りはずしてから洗濯してください。(一部商品によっては無いものがあります)
 - 樹脂部やクッション類は固く絞ったタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
 - 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
 - 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
 - 部品のお取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。
- 警告** 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
警告 本体、表面の生地、ベルト類をいためるおそれがあります。

シートカバーなどの縫製品の洗い方

- 中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
- ☒ 洗濯後は、脱水機、乾燥機はかけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- アイロン掛けはしないでください。

11. 保管/廃棄の仕方

保管 ●製品本体を長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。

廃棄 ●お住まいの各自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。
●衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどははずして、廃棄してください。

ご案内

本装置はアイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置です。本装置は、車両メーカーによって車両ユーザーズマニュアルに記載されている「アイサイズ着席位置」で主に使用するものとして、UN規制No.129に従って認可されています。
ご不明な点がございましたら、改良型幼児拘束装置メーカーまたは販売店にお問い合わせください。

*製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら当社お客様相談室へご連絡ください。 *製品の性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。